

水草研究会第2回全国集会報告

日時 1980年8月9日

場所 大阪市立自然史博物館集會室

今回の集會は、故三木茂先生にゆかりの深い大阪市立自然史博物館に、先生の奥さんをお招きして開かれました。参加者28名、特に遠方から駆けつけていただいた方も多く、盛会となりました。

水草同好会が産声をあげて2年目。会の活動を軌道に乗せるための出発点にしようと思ひ的に取り組んだ集會でした。5時過ぎまで講演や議論が行なわれ、その後、都合のつく方に残っていただいて懇親会を開きました。三木先生の奥さんから若き日の先生の姿など語っていただき、参加者一同、印象に残る会になったことであろうと思います。

なお、当日、会場を提供していただくとともに、本来ならば我々の準備すべきことまでしていただいた博物館学芸員、瀬戸剛氏及び岡本素治氏に心からお礼申し上げます。(角野記)

1. 総会

- (1) 名称変更：水草同好会から水草研究会に。
- (2) 会則の制定：原案を1部修正(12ページ参照)。
会費：今年度は1,000円とする。
- (3) 役員：原田前会長から、大滝末男氏を新会長に推選する旨の発言があり承認。他の役員については、未だ会の体制が整っていないので新会長に一任(次回からは会則ののっとり役員選出)。

2. 講演

- (1) 角野康郎(神戸大学教養部)：日本産ヒルムシロ属の研究
- (2) 別府敏夫(京都大学農学部)：日本のウキクサ類—アオウキクサを中心に—
- (3) 浜島繁隆(市邨学園高蔵高校)：東海地方の溜め池の植生

3. 宮本水文氏(京都市)より、深泥池水生植物群落(京都市北区、天然記念物)の最近の変化についての報告。特に、小、中学生のルアー釣りによって、ジュンサイ群落などが壊滅的打撃を受けている実状が訴えられた。議論の結果、天然記念物の管理団体である京都市に対し、早急に保護対策を講ずるよう水草研究会として申し入れることが決定された(4ページ参照)。と同時に他の地方でも問題をかかえている水域については、水草研究会として自治体などに働きかけようということが確認された。

《新役員》

- 名誉会長 原田市太郎
 会長 大滝末男(東京)
 副会長 斉藤吉永(千葉)
 " 浜島繁隆(名古屋)
 会計 諸井恒一(東京)、他の一名は未定
 幹事 国井秀伸(東京) 別府敏夫(京都)
 " 沖陽子(岡山) 角野康郎(神戸)

◎事務局

- 〒123 東京都足立区梅田3-26-28
 大滝末男気付
 水草研究会(Tel(03)886-7049)

◎会報編集

- 角野康郎(神戸大)、沖陽子(岡山大)

